

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	11
1. 理念の共有		2
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		3
5. 人材の育成と支援		2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		6
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		11
1. その人らしい暮らしの支援		9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		30

事業所番号	3970100271
法人名	社会福祉法人 長い坂の会
事業所名	グループホーム ほのぼのの家
訪問調査日	平成21年2月19日
評価確定日	平成21年5月21日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970100271		
法人名	社会福祉法人 長い坂の会		
事業所名	グループホーム ほのぼの家		
所在地 (電話番号)	高知市朝倉丙1633-17 (電話) 088-840-4711		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	平成21年5月21日

【情報提供票より】(21年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 9年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算 6.4人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	鉄骨 造り 2階建ての 階 ~ 1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 85, 3歳	最低 75歳		最高 91歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人仁泉会 朝倉病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な団地の一角にある、県下で最も早くに開設された歴史あるグループホームである。毎月定期的なボランティア等の受け入れがあり、レクリエーションやお化粧を楽しむなど、和やかな暮らしを支援している。近くの有料老人ホームとの交流や中・高校生・保育園児の訪問等が活発で、利用者や家族、地域住民やボランティア、高校生や法人グループ職員の作品展を開催するなど、開かれた事業所となっている。職員は、利用者一人ひとりの人生を大切にし、常に利用者本位に支援していく姿勢で取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 改善計画を立て、地域包括支援センター職員による介護保険制度の勉強会や、家族に対する利用者の近況等の報告を密にするなどの改善がみられる。終末期ケアについては、法人内で支援体制があることを利用者、家族に説明し、安心して生活できるよう配慮しているが、事業所として、利用者や家族の気持ちの変化や思いに注意を払い、話し合いの機会を設けることを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・職員で検討会を開き自己評価に取り組み、評価の意義とねらいを共有している。
重点項目 ②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2カ月毎に、事業所から改善内容や行事予定を報告し、参加メンバーからは、質問や意見が出され双方向的な会議となっている。行政関係者の助言を受けて、市内西部地域のグループホームの連絡会を結成し、2カ月毎に持ち回りで施設見学や勉強会、情報交換をしている。
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族には、生活の様子を「ほのぼの便り」で毎月カラー写真刷りで届けている。年2回、家族の集まる行事を開催しているが、家族だけで話し合える時間を設け意見を出してもらう仕組みづくりが望まれる。苦情箱等の設置等、対応方針や体制は整備されているが苦情は出ていない。介護相談員や第三者委員による相談受付体制の検討が期待される。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常的に近所の親しい方や回覧板の情報があがり一斉清掃、町民運動会、地区夏祭り等に参加するとともに、地域の有料老人ホームの行事に参加している。事業所では第2回目の「ほのぼの家作品展」を開催し、利用者、家族、地域住民やボランティア、法人内の職員の作品を展示するなど、地域との連携や交流に努めている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 地域に開かれたホームづくりと地域の一員としての役割を担っていく、事業所独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 朝のミーティングや処遇部会で再確認し、意識づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 特に、言葉遣いに注意しながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 近所の方や回覧板での情報があり、地域の一斉清掃、運動会、夏祭り等に参加したり、地域内の施設との交流も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者と職員が自己評価の検討会を開き、評価の意義とねらいを共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画を立て取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>入居者代表・入居者家族代表・近隣のケアハウス施設長・自治会長・高知市西部地区高齢者支援センター・施設長・管理者で構成し、事業所の運営に係る意見や情報交換を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>2カ月毎に運営状況や評価の課題等を報告、議論し、サービスの向上に繋げている。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>地域包括支援センターの支援や助言を受けて、新介護保険制度の研修や、市内西部地域のグループホームが持ち回りで勉強会や情報交換を行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族の来訪の機会には、必ず利用者の健康状態や近況を伝え、要望やケアプラン等の話をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>利用者の暮らしぶりの写真を掲載した「ほのぼの便り」を毎月届けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>利用者の状況変化や問題がある場合は、必ず電話連絡をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>複数の職員で金銭管理を行い、1～2カ月毎に家族の確認サインを貰っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 新年会・敬老会に家族が集まる機会はあるが、家族会は組織していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情箱の設置など体制はできているが、苦情の事例はない。	○	家族の集まる機会に、家族同士で話しをする場が設けられ、意見が出せる仕組みの検討が望まれる。苦情への対応として、介護相談員や第三者委員による外部の方への相談受付も検討されたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 異動や離職はあるが、馴染みの関係を崩さないよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎの期間を1カ月とり、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 2カ月毎の法人内部研修に全員職員が参加している。外部研修の受講機会も確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 処遇検討会で研修報告の機会を設け共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内のグループホーム連絡会に加入し研修会に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 2カ月毎に市内西部地域のグループホーム連絡会で、勉強会や施設見学・情報交換等を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>利用者や家族の意向を確認するほか、入居前の施設・病院等でサマリーや聞き取り調査を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と職員で対応している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>調理や洗濯物のたたみ方、干し方等、利用者から教えてもらうなど、場面づくりに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の喜怒哀楽・不安を日々の生活の中で共感し、安心して暮らせる環境づくりに努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本人のできること、したいことを把握し、希望に添うよう努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>日々の暮らし方や家族からの情報を得て、利用者の好みや意向の把握をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>利用者や家族の意見、要望にそって、具体的な介護計画作成をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>処遇検討会や個別検討会で全職員による意見交換やカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>概ね3カ月毎に見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>利用者の身体の状況や能力の変化に応じて、随時行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>母体法人の病院と連携し、医療処置を受けて生活を継続する支援体制ができている。訪問看護との連携も検討している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院支援は職員が対応している。また、墓参りやふるさと訪問等についても柔軟な支援をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>利用者や家族が希望するかかりつけ医に受診している。希望がない場合は協力病院で診察を受けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族や通院に同伴した職員からの情報を記録し共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>法人として終末期の対応は法人関連施設(病院、特養)に移行すると定めており、事業所としては終末ケアについて話し合いはしていない。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>入所時に法人関連施設への移行について説明済みで、事業所としての取り組みはしていない。</p>	○	法人関連施設と役割分担した終末期ケアの体制がとられているが、事業所として、利用者と家族の意向を踏まえ、より一層、安心して暮らせるために、話し合いの機会を設けることを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>毎月の処遇検討委員会で「言葉の拘束チェック」を行い、職員は言葉かけに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>個々のプライバシーへの配慮を徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>法人内研修で個人情報保護法を取り上げ、全職員が理解している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 帰宅希望がある時は散歩やドライブ、調子の悪い時は部屋で安静にしたり、一人ひとりの過ごし方を柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 できる限り利用者の希望に沿っているが、車の外出には職員2名で対応する法人の方針があり、利用者の理解を得て日程を変更する場合がある。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 調理や味見、盛り付け、片付けなど、利用者の出来ることは職員と一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 15時から夕食までの間、利用者の希望にあわせて入浴できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 言葉かけや誘い方の工夫をし、入浴を促したり足浴や全身清拭で清潔を保っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 生け花、お茶、民謡、洗濯干しや取り込み、掃除など、生活歴や趣味、経験を活かし、得意分野で一人ひとりが力を発揮してもらえるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 生け花やお茶、舞踊など一人ひとりの趣味、経験を日常生活に取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 利用者の身体状況に応じ、散歩コースを散策したり、スーパーへ買い物に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 日常的に近くのホームの菜園までの外出をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 春・秋には利用者・職員・家族でピクニックに出かけ、季節の花見やペットショップなどに出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者の外出習慣等を把握するとともに、玄関のチャイムでチェックするようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 日頃からホームの理解を求め、近隣の住民や施設の見守り、声かけの連携が出来ている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年2回防災訓練を行っているが、地域住民の参加はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 定期的に消防設備の点検を行い、災害に備えて非常食や備品が常備されている。	○	災害時の避難には地域住民の応援、協力が不可欠であるため、訓練へ参加を得ることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>チェック表で食事、水分の摂取量を把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>一人ひとりの嗜好を把握し、食事の拒否や摂取量が少ない場合は、バナナや野菜ジュース等で補食し、栄養バランスに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>管理栄養士の指導、アドバイスを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>食堂と居間の間仕切りを低くして互いの顔が見える環境にあり、ゆったりと和やかに暮らせる団欒の雰囲気醸し出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者の作品展の作品や写真、書道などが天井や壁面に飾られ、和やかな生活空間の工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>季節の生花や鉢植えなど、心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>馴染みの家具や調度品、寝具のほか、趣味の写真、好みの人形等を飾り、その人らしい居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		